

# 和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2013年第2号(週報・月報合併号)

2013年第2週(1月7日~1月13日)、月報12月

## ◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

### 一 感染性胃腸炎 : 終息基準値を下回るも前週より患者報告数が増加 一

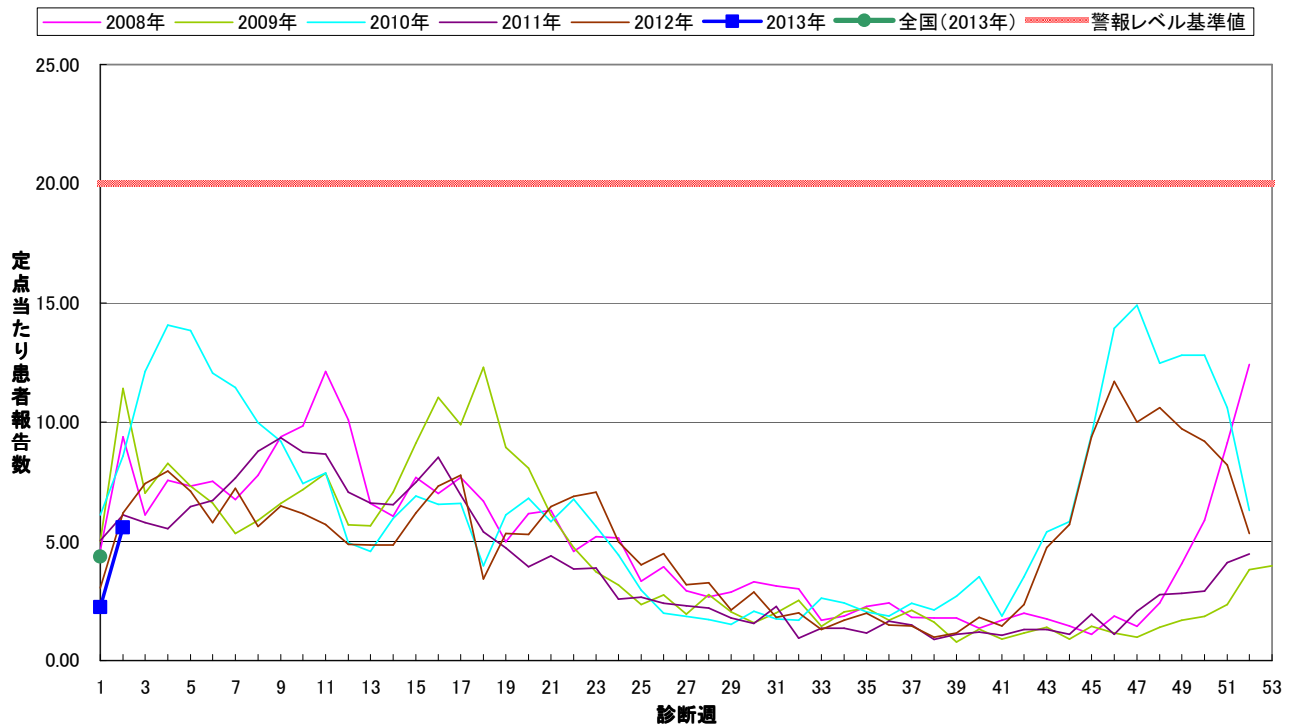
感染性胃腸炎は、細菌またはウイルス等による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。毎年、秋から春先にかけて患者報告数が多く、この時季はノロウイルスやロタウイルスが主な原因となっています。

県全体の定点当たり患者報告数は、5.58人(前週:2.23人)と前週より増加しました。すべての保健所管内で終息基準値を下回っていますが、橋本保健所及び串本支所管内を除き、前週より報告数が増加しており、今後も引き続き注意が必要です。

全国の第1週の定点当たり患者報告数は4.36人(2012年第52週:11.39人)と減少しました。

ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては食中毒としての経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎(和歌山県全体)



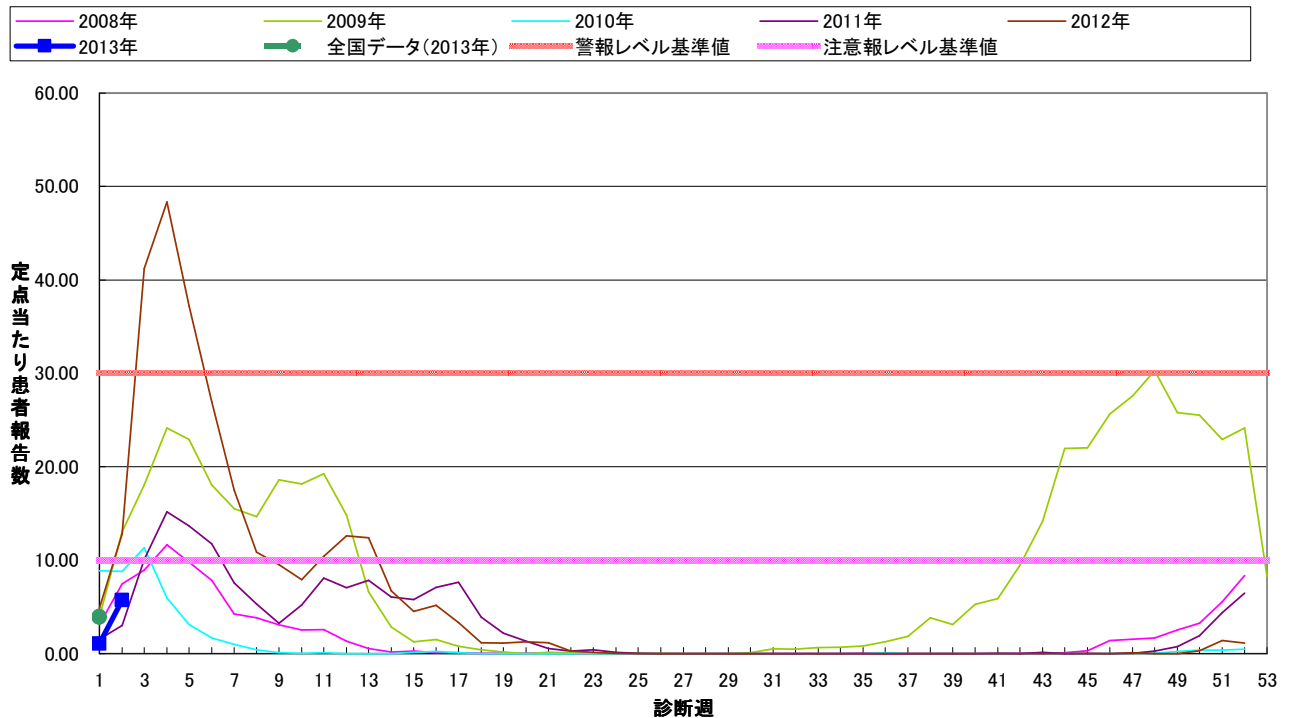
— **インフルエンザ** : 患者報告数は増加傾向 —

和歌山県における県全体の定点当たり報告数は、5.76人（前週：1.08人）と増加しました。管内別にみると、串本支所を除くすべての保健所管内で前週より患者報告数が増加しています。

全国の第1週の定点当たり患者報告数は、3.91人（2012年第52週：3.35人）と増加しています。

例年は1～3月にかけて流行のピークを迎えます。感染を予防するために、うがい・手洗いの励行やマスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。

インフルエンザ(和歌山県全体)



— **RSウイルス感染症** : 県内の患者報告数は3週連続で減少 —

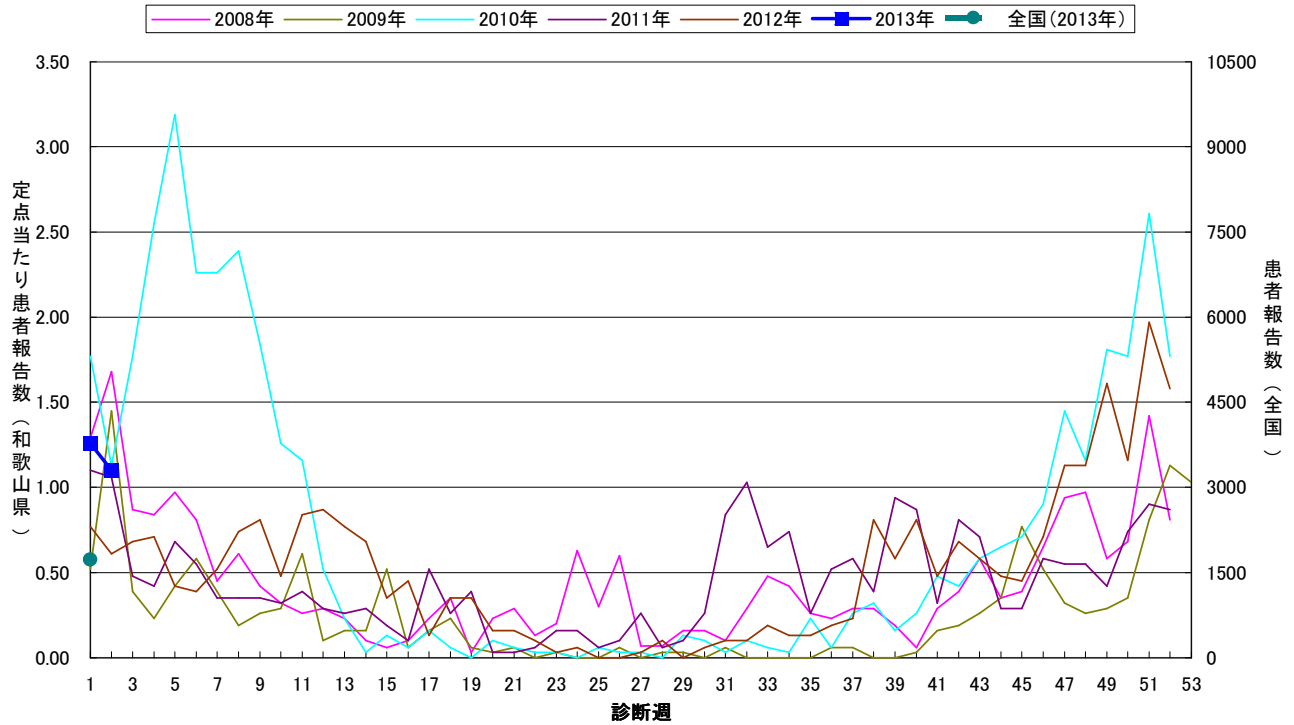
RSウイルス感染症はRSウイルスを原因とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の子供が初感染を受けるとされています。また、生涯にわたり感染を繰り返す感染症です。

県全体の定点当たり患者報告数は1.10人（前週：1.26人）と3週連続で減少しています。

全国約3000の小児科定点医療機関から報告された患者報告数は、第1週が1725人（2012年第52週：3805人）と大幅に減少していますが、この疾病は例年、年末から2月にかけて流行のピークとなることが多いため、今後の動向に注意が必要です。

感染予防策としては、手洗い、うがいが基本です。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

## RSウイルス感染症



### 一 水痘 : 御坊及び田辺保健所管内で注意報レベルとなる 一

県全体の定点当たり患者報告数は2.06人（前週：1.35人）と前週より増加しました。

特に、御坊保健所及び田辺保健所管内で患者報告数が4.00人及び4.50人と注意報レベル基準値以上となりました。今後の動向に注意が必要です。

### ○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

## ◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

### <届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症：報告はありませんでした。
- 2類感染症：結核 5名
- 3類感染症：報告はありませんでした。
- 4類感染症：つつが虫病 1名
- 5類感染症：報告はありませんでした。

2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	6
つつが虫病	1

## ◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

### <各保健所の警報注意報レベル状況>

#### 警報レベル

急性出血性結膜炎（田辺保健所管内）

#### 注意報レベル

水痘（御坊及び田辺保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	288	5	6	13	16	16	22	14	10	11	10	12	48	14	16	24	19	16	6	8	2
	定当	5.76	0.1	0.12	0.26	0.32	0.32	0.44	0.28	0.2	0.22	0.2	0.24	0.96	0.28	0.32	0.48	0.38	0.32	0.12	0.16	0.04

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	34	5	9	11	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	1.1	0.16	0.29	0.35	0.06	0.19	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	5	-	-	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.16	-	-	0.06	0.06	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	28	-	-	-	3	4	2	7	3	2	1	1	5	-	-
	定当	0.9	-	-	-	0.1	0.13	0.06	0.23	0.1	0.06	0.03	0.03	0.16	-	-
感染性胃腸炎	報告	173	1	10	21	18	16	8	17	11	10	9	12	29	3	8
	定当	5.58	0.03	0.32	0.68	0.58	0.52	0.26	0.55	0.35	0.32	0.29	0.39	0.94	0.1	0.26
水痘	報告	64	-	2	12	14	13	13	4	5	-	-	1	-	-	-
	定当	2.06	-	0.06	0.39	0.45	0.42	0.42	0.13	0.16	-	-	0.03	-	-	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	21	2	9	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.68	0.06	0.29	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	3	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.1	-	-	-	-	0.03	-	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-



<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-: 患者報告がない、…: 保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	125	8	32	18	22	22	46	13	2
	定当	8.33	2.67	5.33	3	4.4	7.33	6.57	4.33	1
RSウイルス感染症	報告	9	-	11	3	-	4	3	4	-
	定当	1	-	2.75	0.75	-	2	0.75	2	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	2	-	1	-	1	-	-
	定当	0.11	-	0.5	-	0.33	-	0.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	13	1	2	1	3	1	5	2	-
	定当	1.44	0.5	0.5	0.25	1	0.5	1.25	1	-
感染性胃腸炎	報告	85	9	29	5	12	2	17	14	-
	定当	9.44	4.5	7.25	1.25	4	1	4.25	7	-
水痘	報告	15	4	6	6	1	8	18	6	-
	定当	1.67	2	1.5	1.5	0.33	4	4.5	3	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告	7	1	6	1	4	1	-	1	-
	定当	0.78	0.5	1.5	0.25	1.33	0.5	-	0.5	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-
流行性耳下腺炎	報告	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	3	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	3	…	…
流行性角結膜炎	報告	1	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.33	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	2	-	-	1	3	-	…
	定当	-	…	2	-	-	1	1.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…













### ＜院内感染症の動向＞

2012年12月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が4.45人、薬剤耐性緑膿菌感染症が0.09人となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約59%となっています。

### 【2012年12月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	49	2	1	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	1	9	4	29
	定当	4.45	0.18	0.09	-	-	-	-	0.09	-	-	0.18	-	-	0.09	0.82	0.36	2.64
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 和歌山県感染症情報 (WIDR) 2013年第2号

発行日：平成25年1月17日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail [e0318011@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0318011@pref.wakayama.lg.jp)

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail [e0412003@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0412003@pref.wakayama.lg.jp)

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。